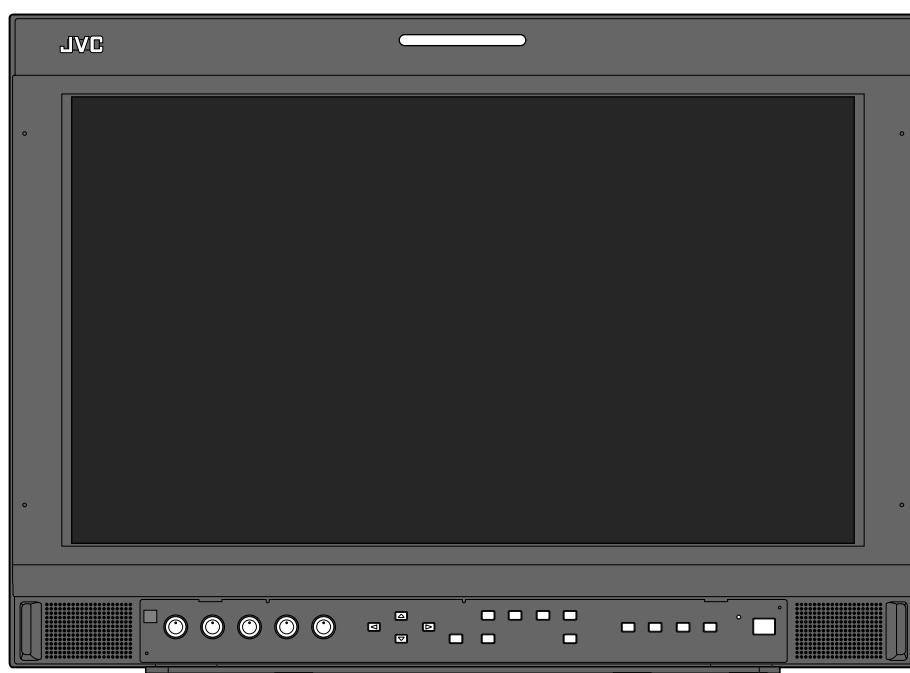
JVC

型名 DT-R17L4D

液晶マルチフォーマットモニター 取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(3～5ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

※JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

LCT2645-001A-H

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠危険	⚠警告	⚠注意
「人が死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容	「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容	「人が軽傷を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

手を挟まれないよう注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く

アース線をつなぐ

⚠警告

表示された電源電圧(交流 100 V)以外で使用しない。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない。

禁止

雷が鳴り出したら、電源プラグに触れない。

感電注意

電源コードを傷つけない。

禁止

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

本機の裏ぶた、カバー、キャビネットをはずしたり改造したりしない。

分解禁止

通気孔をふさがない。

禁止

- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまの状態で使用しない

内部に物を入れない。

感電の原因となります。特にお子様には十分注意してください。

禁止

本機の上に水の入ったものを置かない。

禁止

不安定な場所に置かない。

禁止

風呂場などの水のある場所で使わない。

水場での使用禁止

動作使用条件(温度、湿度)に注意して設置する。

動作使用条件の範囲内で設置するようにしてください。(☞24ページ「動作使用条件」)本機は熱を帯びる構造になっています。取り扱いには十分気をつけてください。

一般的注意

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

この商品は、放送局などの限定された環境で、専任者により取り扱われることを前提としています。専門知識を持ったかたが操作してください。

次のことが起こった場合は

- ●煙が出ている、異臭がする。
- ●映像が映らない、音が出ない。
- ●内部に水や物が入った。
- ●落下などにより破損した。
- ●電源コードが傷んだ。

電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

⚠注意

電源プラグはコードの部分を持って抜かない。

禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない。

禁止

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む。

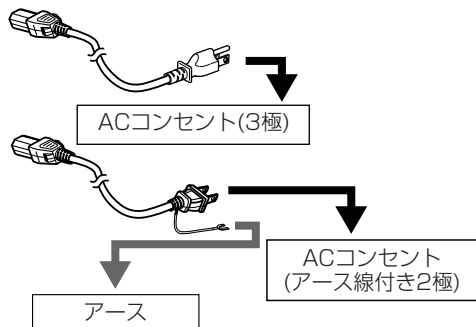
一般的注意

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

ぬれ手禁止

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因となることがあります。

アース線をつなぐ

- **ACコンセントが3極の場合**
  付属の電源コード(3極)を接続すると、安全アースも接続されます。
- **ACコンセントが2極の場合**
  付属の電源コード(アース線付き2極)のプラグから出ている緑色のアース線を、建物に備えられているアース端子につないでください。アース接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行なってください。また、アース接続を外す場合は必ず電源プラグをコンセントから外してから行なってください。

付属の電源コード以外は使用しない。

禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない。

禁止

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く。

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

プラグをコンセントから抜く

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす。

プラグをコンセントから抜く

電源コードを抜くときは、壁側のコンセントから先に抜く。

プラグをコンセントから抜く

AC電源の入/切について

本機は背面のPOWERスイッチでAC電源を入/切します。背面のPOWERスイッチを入/切できないところに設置した場合は、電源プラグを抜き差ししてAC電源を入/切してください。そのとき、本機をできるだけコンセントの近くに設置し、電源プラグを抜き差しするのに十分な空間を確保してください。確保できないときは、簡単にAC電源を入/切できる遮断装置を屋内の配線に設置してください。

プラグをコンセントから抜く

一般的注意

次のような場所に置かない。

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 直射日光や強い光の当たるところ

禁止

本機の上に重い物を置かない。

禁止

本機の上に乗らない、ぶら下がらない。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない(ものを当てたり、先の尖ったもので突いたりしない)。

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない。

禁止

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する。

一般的注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください。

一般的注意

⚠注意

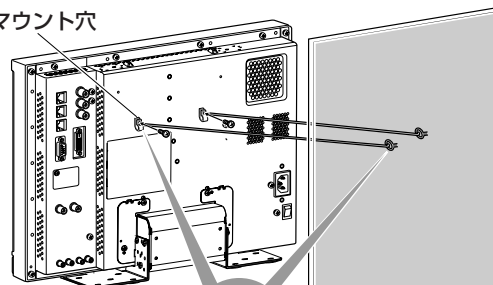
スタンドに設置するときは、転倒・落下防止の処置をする。

地震や不慮の事故などで、本機が倒れたり、設置場所から落下したりすると、本機が破損するだけでなく、けがや感電の原因となることがあり、大変危険です。
スタンドに設置するときは、転倒・落下を防止するための処置をしてください。

一般的注意

参考例： 転倒・落下防止のために
本機をひもで壁に固定することで、転倒・落下を防止することができます。

固定のしかた
本機背面にあるVESAマウント穴のうち上側の２個に、市販のフックとネジ（M4、長さ10mm）を取り付けます。取り付けたフックに市販の丈夫なひもを結び、壁面や柱など堅牢部に固定します。

転倒・落下防止処置を行う場合、壁や柱の強度によっては、その効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止処置は、けがなどの危害の軽減を意図するものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

使用上のご注意

■ 長時間のご使用について

本機を長時間連続でご使用される場合は、電力消費および機器の負担を軽減するために、MAIN MENU「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC FUNCTION」を「P.SAVE」に設定することをおすすめします。

■ 高温でのご使用について

高温の場所で使用しないでください。パネルや本機の部品が故障することがあります。また、本機の内部には温度センサーがあります。通常使用範囲以上の温度になると、「TEMP. OVER」と表示されます。さらに温度が上がると電源が自動的に切れます。このような場合は、一度温度の低い場所で冷ましてください。

■ お手入れのしかた

画面

画面に「ムラ」「変色」「キズ」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので、次のことに注意してください。

- のりやテープなどを張らない
- ペンなどで書き込みをしない
- 硬いものにぶつけない
- 結露させない
- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 強くこすらない

画面の汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネット

キャビネットが変質したり、傷ついたり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- アルコール、シンナー、ベンジンなどの溶剤でふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない
- 強くこすらない

キャビネットの汚れを取り除くときには、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい場合は、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

通気孔

通気孔に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布でふき取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

設置

ご注意：

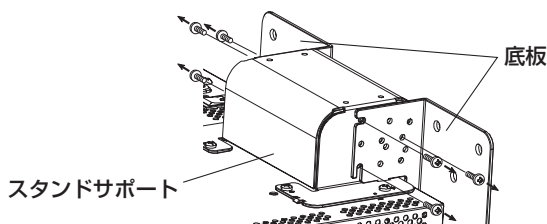
- 本機に肘をかけたり、寄りかかったりしないでください。
- 設置するときに、液晶画面に触れないでください。
- 取り付けが不完全だと、本機が落下するなどして、けがや故障などの原因となります。

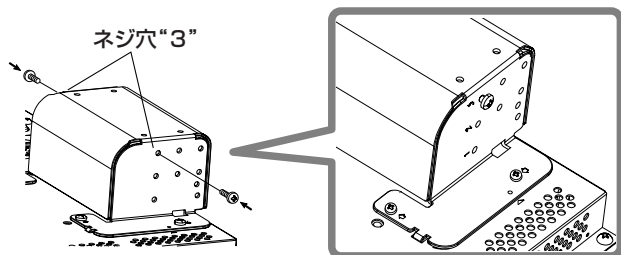
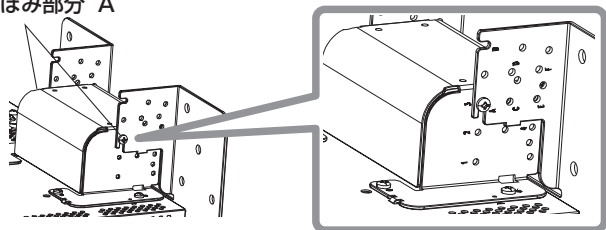
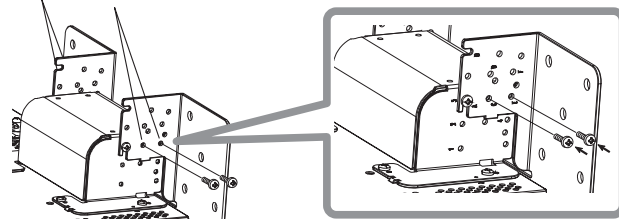
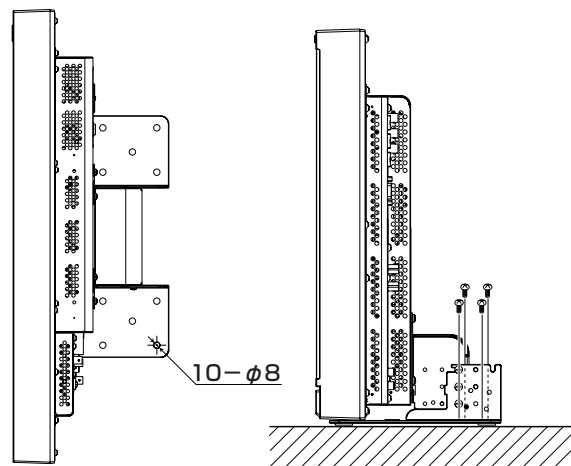
モニターを棚などにネジで設置する場合

スタンドの底板を後方位置へ移動させることにより、スタンドをモニター本体より前に出さずに設置することができます。

ご注意：

- 液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行ってください。
- スタンドの底板を後方位置へ移動したあとに、市販のネジでスタンドを必ず固定してください。

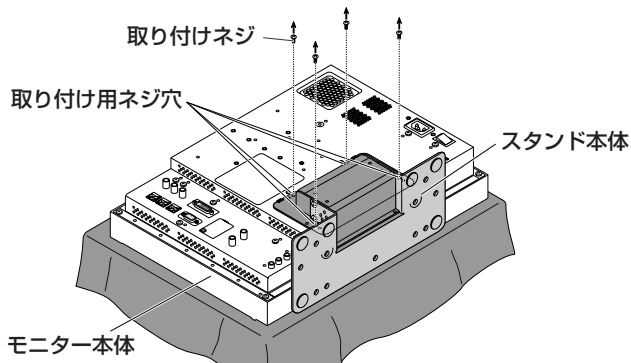
1 スタンドサポートからスタンド用ネジをゆるめ、底板を取りはずしてください。

2 スタンドサポートの左右側面のネジ穴"3"にスタンド用ネジを仮止めしてください。

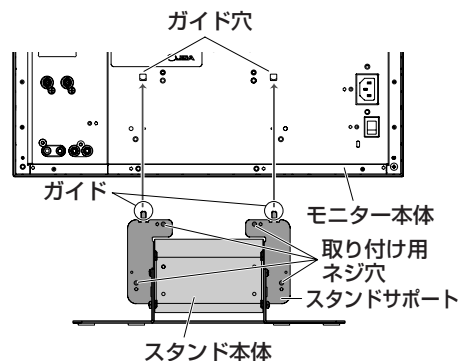
- 仮止めのネジは外側に約4mm出して締めておきます。

3 底板の左右くぼみ部分"A"を、スタンドサポートの仮止めしたネジにかけます。

4 スタンドサポートのネジ穴と、底板の左右のネジ穴"C"と"E"が合うよう位置を調整し、片側2箇所、両側4箇所をスタンド用ネジで締め、最後に仮止めしたネジを締めてスタンドサポートと底板を固定してください。

5 スタンドの底板にあるネジ固定穴（10－φ8）を、市販のネジで片側を2箇所以上、両側で4箇所以上固定してください。（固定強度が充分で、想定される振動などの外力に耐えることができるネジをご使用ください）

ご注意：

スタンドをネジで固定しないと、転倒・落下で本機が破損するだけでなく、けがで感電の原因になることがあり大変危険です。

スタンドの取りはずし

ご注意：

液晶画面を傷つけないように、布などを敷いて行なってください。

スタンドの取り付け

スタンドを取り付けるときは、必ず事前にスタンドサポートのガイドをモニター本体のガイド穴に奥まで入れて、スタンドの位置合わせをします。その後、取り付けネジで固定してください。

壁などへの設置について

スタンドの底板の取り付け方を変更することで、モニターを壁に設置することができます。

取付業者指定設置方法
取付工事は必ず工事専門業者にご依頼ください。 この設置方法は落下事故などの危険を防ぐため、取付方法などに十分注意する必要があります。 したがって、取付においては、十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施工を行なうことを前提とした「取付業者指定設置方法」です。

事故損傷について
組立不良、取付工事不良、取付強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故などにつきましては、当社は一切の責任を負いません。

- 設置後に撤去しますと、壁面にネジ類の穴やアンカーボルトが残りますのでご了承ください。
  また、液晶モニターを長時間ご使用になりますと、液晶モニターの熱や空気の流れで壁面が変色することがありますのでご了承ください。

⚠危険

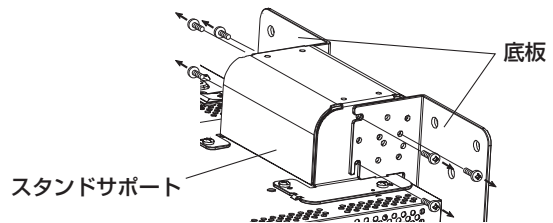
- 取り付けは必ず取付工事専門業者にご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。
  本製品は、液晶モニターを含めると最大で9kgの質量となります。壁に取り付ける場合、組立・設置に不備がありますと落下し、死亡事故の原因となります。
  死亡事故防止のため、設置場所の構造・材質・強度を十分に確認し、設置後には必ず強度確認を行なってください。

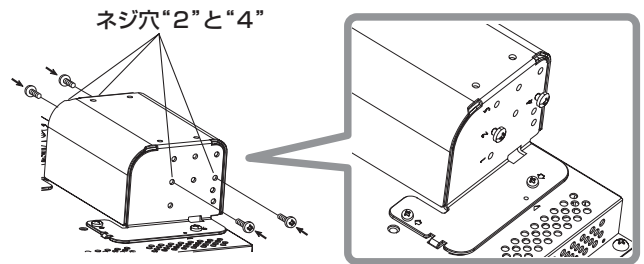
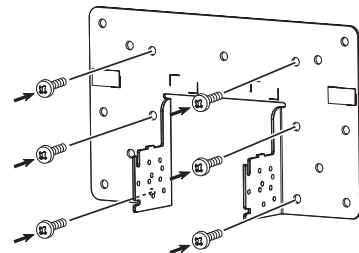
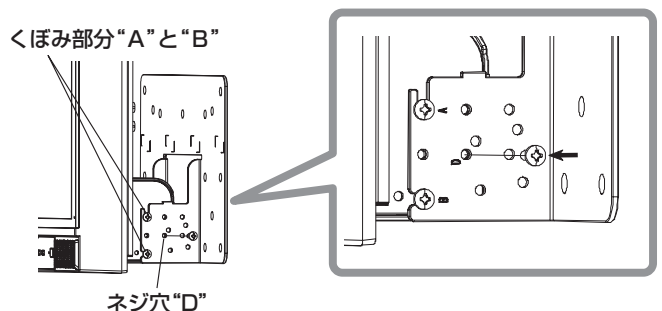
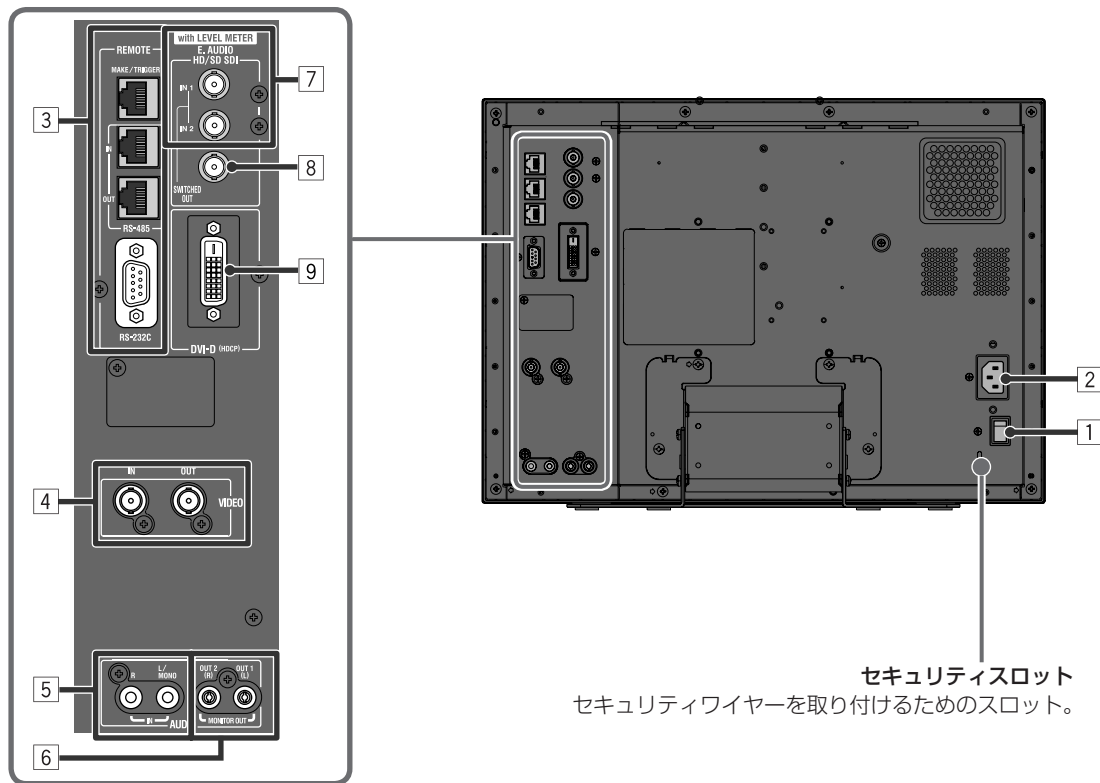
⚠警告

- 本製品以外は取り付けないでください。液晶モニターが落下して、けがや破損の原因になります。
- 本製品のネジは、確実に取り付けてください。液晶モニターやスタンドが落下して、けがや破損の原因になります。
- 本製品には、壁面などに固定するアンカーボルト類は付属しておりません。設置場所に合わせて別にご用意ください。
- 取り付ける壁面は、液晶モニターとスタンド等の総合荷重に長期間十分耐え、また地震や想定される振動や外力に十分耐えられる施工を行なってください。
- 壁が木造の場合の取り付け
  荷重は必ず柱や間柱に持たせるようにし、強度が不足する場合は補強してください。石膏ボードや薄い合板の壁面に直接設置しないでください。ネジ類は壁構造や材質に最適な市販品をお求めください。
- 壁がコンクリートの場合の取り付け
  液晶モニターの荷重に十分に耐えうる市販品のアンカー類をお求めください。
- エアコンディショナーの吹き出し口、吸い込み口のそばに設置しないでください
- 振動の多いところや衝撃や大きな力がかかるところに設置しないでください。
- 人がぶらさがったり、寄りかかったりするような所には、設置しないでください。
- 通風孔をふさがないでください。
- 垂直面以外の壁面には設置しないでください。

⚠注意

- 電気工事は、専門業者にご依頼ください。設置時に(芯線の露出、断線など)電源コードを痛め、そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 作業スペースは十分に確保してください。けがや火災の原因になります。
- 設置場所に通っている配線、配管を確実に避けてください。火災、感電の原因となります。

1 液晶画面を傷つけないように布などを敷き、スタンドサポートからスタンド用ネジをゆるめ、底板をはずしてください。

2 スタンドサポートの左右側面のネジ穴“2”と“4”にスタンド用ネジを仮止めしてください。

- 仮止めのネジは外側に約4mm出して締めておきます。

3 下図の6箇所の穴を市販のネジなどで壁に取り付けてください。

4 底板の左右のくぼみ部分“A”と“B”に、スタンドサポートの仮止めしたネジをかけ、底板の左右のネジ穴“D”にスタンド用ネジを片側1箇所、両側2箇所締め、最後に仮止めしたネジを締めてスタンドサポートと底板を固定してください。

■ 背面

1 **電源スイッチ**
電源をオン/オフ。

- 電源スイッチをオンにしても、⏻/I ボタン(☞10ページ⑮)をオンにしないとモニターは動作しません。

2 **AC IN端子**
AC電源の入力端子。
付属の電源コード(3極または2極)を接続します。

- 付属の電源コードホルダーを取り付けて、プラグが抜けないように固定できます。(☞9ページ)
- 4ページの「安全上のご注意(安全アースを接続する)」をよくご覧ください。

ご注意：
すべての機器の接続が終わってから、電源プラグを接続してください。

3 **REMOTE端子**
本機を外部から制御するための端子。(☞18ページ「外部制御」)

4 **VIDEO端子(BNC)**
コンポジット信号の入出力端子。

5 **AUDIO(IN)端子(ピンジャック)**
アナログ音声信号の入力端子。

- SDIのアナログ音声信号の場合は、この端子に入力します。EMBEDDED AUDIO信号が重畳したSDI信号が入力されている場合、アナログ音声信号は入力できません。

6 AUDIO(MONITOR OUT)端子(ピンジャック)
アナログ音声信号の出力端子。
- AUDIO (IN)端子への入力信号またはE.AUDIO HD/SD SDI(IN 1またはIN 2)端子に入力されたEMBEDDED AUDIO信号を出力します。
- モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)(☞15ページ「NO SYNC ACTION」)のときのみ出力されます。
- EMBEDDED AUDIO信号は. . .
  – アナログ音声信号にデコードして出力されます。
  – SDI入力(SDI 1またはSDI 2)がえらばれ、E.AUDIO HD/SD SDI入力端子(IN 1またはIN 2)にEMBEDDED AUDIO信号が入力されているときのみ出力されます。

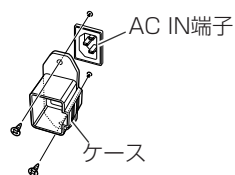
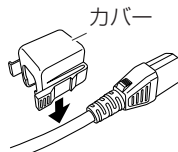
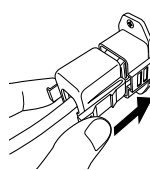
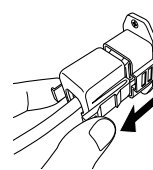
7 E. AUDIO HD/SD SDI(IN 1、IN 2)端子(BNC)
HD/SD SDI信号の入力端子。
- サンプリング周波数48 kHz、1～12チャンネルのEMBEDDED AUDIO信号にも対応します。

8 E. AUDIO HD/SD SDI (SWITCHED OUT)端子(BNC)
HD/SD SDI信号の出力端子。
- 現在えらばれているSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号がリクロックされて出力されます。
- SDI入力以外の入力に切り換えたときは、最後にえらんだSDI入力(SDI 1またはSDI 2)の信号が出力されます。
- モニターがオンまたは「P.SAVE」(省電力モード)のときのみ出力されます。

9 DVI-D (HDCP)端子
HDCP対応のDVI-D信号の入力端子。
- 映像が正しく表示されないときは、「DVI INPUT SEL.」の設定を変えてください。(☞17ページ)

接続するときのご注意
- 本機と接続する機器の電源を切ってから接続を行なってください。
- 接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをえらんでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いと、映像の乱れや雑音の原因となります。
- コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 電源プラグは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

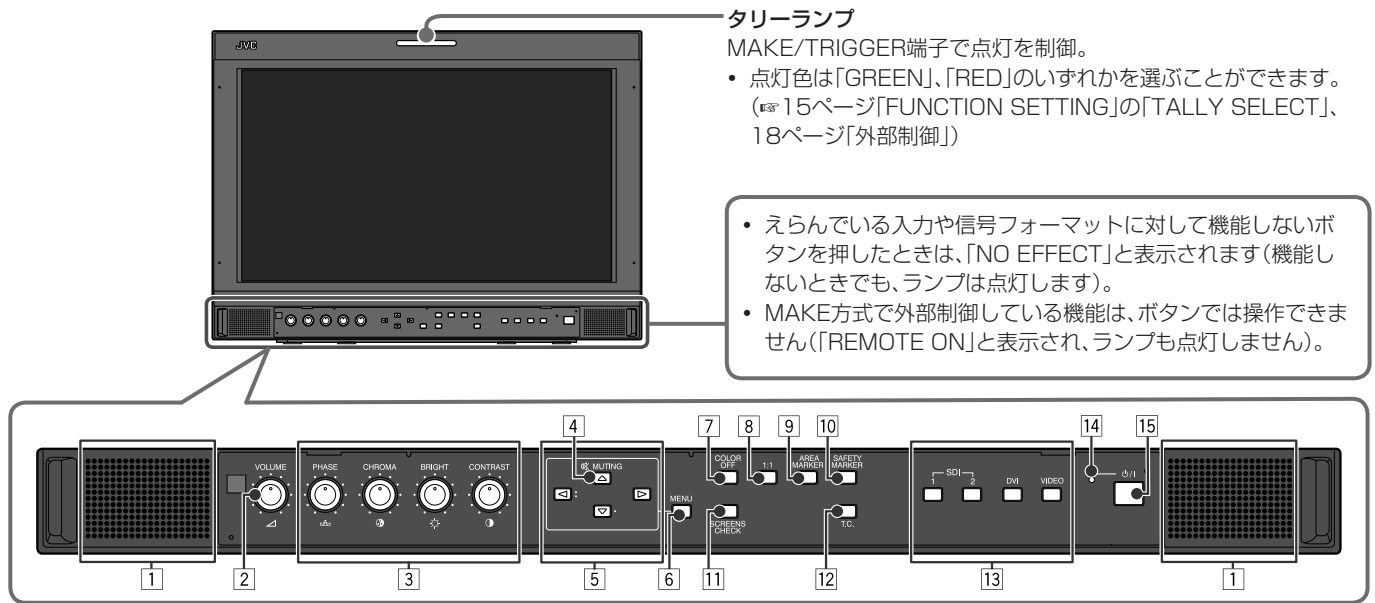
電源コードホルダー(付属品)の取り付けかた
電源コードが抜けるのを防ぐため、本機の背面にホルダーを取り付けます。
- ホルダーはケースとカバーの2つで構成されています。

1

2

3

カバーをはずすときは...

ご注意:
- 付属のネジ以外は使用しないでください。
- カバーをケースにはめこんでから、プラグが抜けないかどうかをご確認ください。

基本操作

■ 正面

タリーランプ
MAKE/TRIGGER端子で点灯を制御。
- 点灯色は「GREEN」、「RED」のいずれかを選ぶことができます。(☞15ページ「FUNCTION SETTING」の「TALLY SELECT」、18ページ「外部制御」)

- えらんでいる入力や信号フォーマットに対して機能しないボタンを押したときは、「NO EFFECT」と表示されます(機能しないときでも、ランプは点灯します)。
- MAKE方式で外部制御している機能は、ボタンでは操作できません(「REMOTE ON」と表示され、ランプも点灯しません)。

1 **スピーカー(ステレオ)**
AUDIO(MONITOR OUT)端子から出力される音声信号と同じ音声を出力。
(☞9ページ「6 AUDIO(MONITOR OUT)端子」)

2 **VOLUME調節ノブ**
スピーカーの音量を調節。

3 **映像調節ノブ**
PHASE: 映像の色あい(色相)を調節。
CHROMA: 映像の色の濃さを調節。
BRIGHT: 映像の明るさを調節。
CONTRAST: 映像のコントラストを調節。
- PHASE調節、CHROMA調節は信号フォーマットによっては働きません。
- 「COMPONENT PHASE」を「DISABLE」に設定しているとき、PHASE調節はNTSC信号以外では働きません。(☞15ページ)

4 **MUTINGボタン**
メニューが表示されていないときに、スピーカーの音を消音(ミュート)。
- 解除するには、もう一度押すか、VOLUME調節ノブを回します。
- メインメニューの「AUDIO SETTING」の「BALANCE」を変更しても解除されます。(☞14ページ)

5 **◁ / ▷ / △ / ▽ ボタン**
メニューが表示されているとき
項目を選択または調節。
(☞12ページ「メニューの操作」)
メニューが表示されていないとき
EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルを選択。(☞11ページ「音声チャンネルの選択」)
- ▽ボタンを押しながら◁ボタンを押すと、セットアップメニューが表示されます。
(☞12ページ「メニューの操作」)

6 **MENUボタン**
メインメニューの表示/非表示。
(☞12ページ「メニューの操作」)

7 **COLOR OFFボタン/ランプ**
輝度信号のみの映像にする。
- RGB入力には働きません。

8 **1:1ボタン/ランプ**
入力信号の解像度と同じ解像度(等倍)で映像を表示。
- 入力信号によって、アスペクト比が変わることがあります。

9 **AREA MARKERボタン/ランプ**
エリアマーカーの表示/非表示。
- エリアマーカーはメインメニューの「MARKER」で設定します。(☞13ページ)
- 16:9表示のときのみ働きます。
- 「MARKER」の「AREA MARKER」または「R-AREA MARKER」を「OFF」に設定しているときは働きません。

10 **SAFETY MARKERボタン/ランプ**
セーフティマーカーの表示/非表示。
- セーフティマーカーはメインメニューの「MARKER」で設定します。(☞13ページ)
- 1:1表示のときは働きません。
- 「MARKER」の「SAFETY MARKER」または「R-SAFETY MARKER」を「OFF」に設定しているときは働きません。

11 **SCREENS CHECKボタン/ランプ**
R、G、B信号成分を単体で表示。
- ボタンを押すごとに、映像が次のように切り換わります。

RGB(通常) → Rのみ → Gのみ → Bのみ → RGB(通常)

12 **T.C.ボタン/ランプ**
SDI信号に含まれている時間データ(タイムコード)の表示をオン/オフ。
(☞11ページ「情報表示について」)
- タイムコードはセットアップメニューの「INFORMATION」で設定します。(☞17ページ)

13 **INPUT SELECTボタン/ランプ**
入力を選択。
SDI 1: E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1)端子からの入力
SDI 2: E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2)端子からの入力
DVI: DVI-D(HDCP)端子からの入力
VIDEO: VIDEO端子からの入力
- えらんでいる入力のランプが点灯します。

14 **電源ランプ**
消灯: 電源が完全に切れている状態(背面の電源スイッチがオフ)
緑色: モニターがオン
オレンジ色: モニターがオフ(スタンバイ)
オレンジ色点滅: P.SAVE(省電力)モード(☞15ページ「SYNC FUNCTION」の「NO SYNC ACTION」)

15 **⏻/I ボタン**
モニターをオン/オフ(スタンバイ)。
- 背面に本機の電源スイッチがあります。(☞8ページ1)

音声チャンネルの選択

SDI入力で、EMBEDDED AUDIO信号が入力されているとき、スピーカー(L/R)とAUDIO(MONITOR OUT)(OUT1(L)/OUT2(R))端子から出力する音声チャンネルをえらびます。

- 音声チャンネルのグループを設定しておく必要があります。(☞14ページ「AUDIO SETTING」の「E.AUDIO GROUP」)
- SDI 1とSDI 2のそれぞれの入力ごとに記憶されます。

1 メニューを表示していないときに ◁ または ▷ ボタンを押す

音声チャンネル選択画面が表示されます。

- 音声チャンネル選択画面は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。

音声チャンネル選択画面

えらんでいる項目

2 △ ▽ ボタンで左右(L ch/R ch)をえらぶ

3 ◁ ▷ ボタンで音声チャンネルをえらぶ

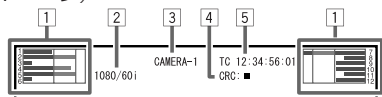
- ボタンを押すごとに、「E. AUDIO GROUP」の設定に従って音声チャンネルが切り換わります。(☞14ページ)

4 MENUボタンを押す

音声チャンネル選択画面が消えます。

情報表示について

入力に関して、以下の情報が表示されます。

- 各情報の表示/非表示は、メニューで設定します。 [5]のみ、T.C.ボタン(☞10ページ[12])で設定します。
- 情報の表示位置は、「INFORMATION」の「POSITION」で設定します。(☞17ページ)

[1] **オーディオレベルメーター**
- 「LEVEL METER ch」を「LINE」または「DIVIDE」に設定するとEMBEDDED AUDIO信号の状態を確認することができます。
- 「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは表示されません。

☞14ページ「AUDIO SETTING」

[2] **信号フォーマット**
- 「STATUS DISPLAY」が「ON」のとき表示されます。(☞17ページ「INFORMATION」)
- 表示内容については、26ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。

[3] **「CHARACTER SET.」で登録した入力映像ソース名**
- 「SOURCE ID」が「ON」または「AUTO」のとき表示されます。
- 「STATUS DISPLAY」が「OFF」または「AUTO」のときは、大きな文字で表示されます。

☞17ページ「INFORMATION」

[4] **CRCエラー表示**
- 「CRC ERROR」が「ON」のとき表示されます。(☞17ページ「INFORMATION」)
- エラーが発生したときは、赤い四角が表示されます。

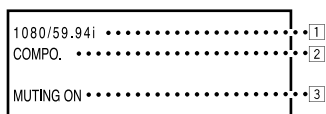
[5] **タイムコード**
- 入力信号にタイムコードが含まれていないときは、「TC −−:−−:−−:−−」と表示されます。(☞10ページ[12])

- パソコン信号以外の信号が入力されているとき、[1]、[2]、[3]、[4] のいずれかが表示されていると、映像は情報表示領域を避けて表示されます。ただし、以下の場合は映像と情報表示が重なります。
  - パネル解像度より高い解像度の信号を1:1表示しているとき
  - メインメニューの「SD4:3 SIZE」が「H FULL」のとき

ステータス表示について

現在ランプが点灯しているINPUT SELECTボタン(☞10ページ[13])を押すと、入力信号のステータスとMUTING(消音)の設定状態が約3秒間表示されます。

- ステータスの表示/非表示は、「INFORMATION」の「STATUS DISPLAY」で設定します。(☞17ページ)
- 「STATUS DISPLAY」を「AUTO」または「ON」に設定すると、次の場合にもステータスが表示されます。
  - 入力を切り換えたとき
  - 現在えらんでいる入力の信号の状態が変わったとき
  - モニターをオンにしたとき
- 「STATUS DISPLAY」を「ON」に設定したときは、ステータスが表示されてから3秒後に、信号フォーマットのみ表示されます。

1080/59.94i ・・・・・・・・・・ [1]
COMPO. ・・・・・・・・・・ [2]
MUTING ON ・・・・・・・・・・ [3]

[1] **信号フォーマット**
- 表示内容については、26ページの「対応信号フォーマット」および下記の「信号フォーマットについて」をご覧ください。

信号フォーマットについて

入力信号の種類や状態により、下記の内容が表示されます。

DVI入力で、HDCP対応の信号が入力されたとき
➡ 信号フォーマットの表示の一番後ろに「*」が付きます。

映像信号が入力されていないとき
➡「NO SYNC」と表示されます。

本機で対応していない映像信号が入力されたとき
➡「Out of range」と表示されます。

「COLOR SYSTEM」(☞15ページ「FUNCTION SETTING」)が「AUTO」に設定されているときに、本機で対応していないコンポジット信号が入力されたとき
➡「OTHERS」と表示されます。

[2] **DVI入力時の信号形式**

☞17ページ「DVI INPUT SEL.」

[3] **MUTING(消音)の設定状態**
- 消音時のみ表示されます。(☞10ページ[4])

メニューの設定

■ メニューの操作

1 メニューを表示させる

メインメニューを表示させるとき

➡ MENU ボタンを押す

セットアップメニューを表示させるとき

➡ ▽ ボタンを押しながら ◁ ボタンを押す

メインメニュー　セットアップメニュー

えらんでいる項目

操作ガイド

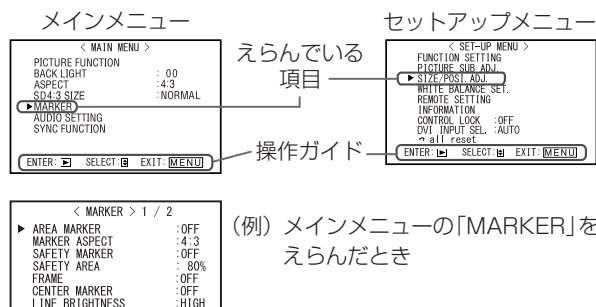
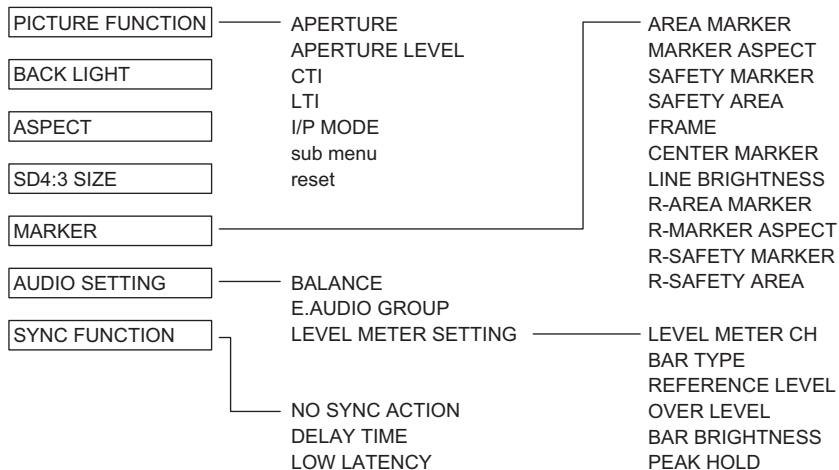
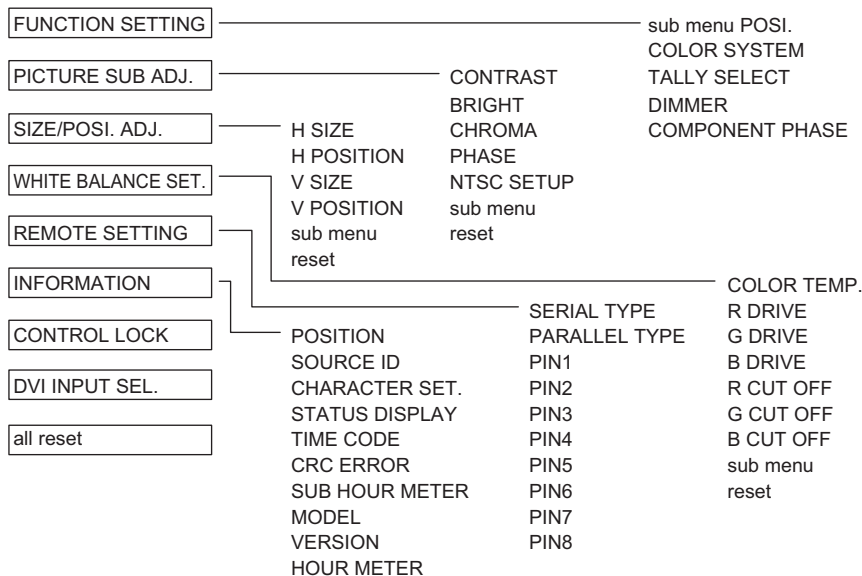
2 △ ▽ ボタンで項目をえらび、▷ ボタンで次の画面へ進む

- 項目によっては、◁ ▷ボタンを押して設定します。

（例）メインメニューの「MARKER」をえらんだとき

3 △ ▽ ボタンで項目をえらび、◁ ▷ ボタンで設定する

4 MENUボタンを押してメニューの操作を終了する

- メニュー画面の表示が消えるまで、MENUボタンをくり返し押します。

■ メニューの遷移図

- メニュー表示は、約30秒間なにも操作しないと、自動的に消えます。
- 選択している入力や信号フォーマットによっては、メニューに表示されない項目があります。
- MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。

■ メインメニュー

PICTURE FUNCTION

画質を向上させるための設定

項目名	内容	設定値
APERTURE[注1]	「APERTURE LEVEL」で設定される値のオン/オフ	OFF、ON
APERTURE LEVEL[注1]	輝度信号の周波数特性を補正	01 ～ 10
CTI	色信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	OFF、NORMAL、HARD
LTI	輝度信号の輪郭部の鮮鋭度を設定	OFF、NORMAL、HARD
I/P MODE	入力映像に応じてスキャンモードを選択	NORMAL、CINEMA、FIELD
sub menu	「PICTURE FUNCTION」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE FUNCTION」の設定をお買い上げ時の状態に戻す	

注1　入力ごとに記憶されます。

BACK LIGHT　**設定値：** −20 ～ +20

バックライトの明るさを調節

ASPECT　**設定値：** 4:3、16:9

SD 信号のアスペクト(画面の縦横比)を設定
- 1:1表示のときは働きません。

SD4:3 SIZE　**設定値：** NORMAL、H FULL

4:3フォーマットの信号が入力されているときの映像サイズを選択
　NORMAL：垂直方向の映像サイズを画面の画素数に合わせて表示
　H FULL　：水平方向の映像サイズを画面の水平サイズに合わせて表示。この時、上下がオーバースキャンになります
- 1:1表示のときは働きません。

MARKER[注1][注2]

マーカー機能の設定

1/2

項目名	内容	設定値
AREA MARKER[注3]	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択 設定値と内容は以下のとおりです。 OFF　：範囲を表示しない LINE　：範囲を線で表示 HALF　：範囲外をハーフトーンで表示 HALF+L：範囲を線で表示し、範囲外をハーフトーンで表示 BLK.　：範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示 BLK.+L：範囲を線で表示し、範囲外を黒くして範囲内の映像のみ表示	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
MARKER ASPECT[注3]	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
SAFETY MARKER	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択[注4]	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
SAFETY AREA	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ～ 100%
FRAME	映像範囲の表示/非表示	OFF、ON
CENTER MARKER	映像の中央位置を示すマーカーの表示/非表示	OFF、ON
LINE BRIGHTNESS	マーカーの輝度を設定	HIGH、LOW

- エリアマーカーとセーフティマーカーは、正面のAREA MARKERボタン、SAFETEY MARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」のついていない項目とついている項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。(☞18ページ「外部制御」)
- 4:3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカーが表示されます。
- 16:9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカーを表示させるときは、エリアマーカーの表示を「OFF」にしてください。

注1　入力ごとに記憶されます。
注2　1:1表示のときと、メインメニュー「SD4:3 SIZE」が「H FULL」で4:3フォーマットの信号が入力されているときは表示されません。
注3　16:9表示のときのみ表示されます。
注4　設定値の内容は「AREA MARKER」と同様です。

MARKER[注1注2]

マーカー機能の設定

2/2

項目名	内容	設定値
R-AREA MARKER[注3]	エリアマーカーの表示/非表示、種類を選択[注4]	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
R-MARKER ASPECT[注3]	エリアマーカーのアスペクト比を選択	4:3、14:9、13:9、2.35:1、1.85:1、1.66:1
R-SAFETY MARKER	セーフティマーカーの表示/非表示、種類を選択[注4]	OFF、LINE、HALF、HALF+L、BLK.、BLK.+L
R-SAFETY AREA	セーフティマーカーの範囲を設定	80% ～ 100%

- エリアマーカーとセーフティマーカーは、正面のAREA MARKERボタン、SAFETEY MARKERボタンまたは外部制御で表示させます。
- 「R-」のついていない項目とついている項目のうち、どちらの設定を有効にするかは、外部制御で選択します。(☞18ページ「外部制御」)
- 4:3表示のときは、表示エリアに対してのセーフティマーカーが表示されます。
- 16:9表示のときに表示エリアに対するセーフティマーカーを表示させるときは、エリアマーカーの表示を「OFF」にしてください。

注1　入力ごとに記憶されます。
注2　1:1表示のときと、メインメニュー「SD4:3 SIZE」が「H FULL」で4:3フォーマットの信号が入力されているときは表示されません。
注3　16:9表示のときのみ表示されます。
注4　設定値の内容は「AREA MARKER」と同様です。(☞13ページ)

AUDIO SETTING

音量バランス、EMBEDDED AUDIO信号、オーディオレベルメーターについての設定

項目名	内容	設定値
BALANCE	左右のスピーカーの音量バランスを調節	L5 ～ L1、0、R1 ～ R5
E.AUDIO GROUP[注1]	EMBEDDED AUDIO信号の音声チャンネルグループを選択 設定値と、各設定でえらべるEMBEDDED AUDIOの音声チャンネルは以下のとおりです。 (GはGROUPのGです) **1G**　：チャンネル1/2/3/4/1+2/3+4/1～4(1G) **2G**　：チャンネル5/6/7/8/5+6/7+8/5～8(2G) **1-2G**：チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/1+2/3+4/5+6/7+8/1～4(1G)/5～8(2G)/1～8(1G+2G) **3G**　：チャンネル9/10/11/12/9+10/11+12/9～12(3G) **1-3G**：チャンネル1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/1+2/3+4/5+6/7+8/9+10/11+12/1～4(1G)/5～8(2G)/9～12(3G)/1～8(1G+2G)/1～12(1-3G)	1G、2G、1-2G、3G、1-3G
LEVEL METER SETTING[注1]	EMBEDDED AUDIO信号のオーディオレベルメーター表示を設定 **オーディオレベルメーターの表示例**—レベルメーター表示位置とチャンネルの関係 例：LEVEL METER ch：LINE、BAR TYPE: 3COLORSのとき OVER LEVEL　REFERENCE LEVEL 1 2 3 4 5 6　7 8 9 10 11 12 赤色　黄色　緑色 • 音声信号入力のないチャンネルのレベルメーターの色は、「3COLORS」設定時は白、「W.100」設定時は灰色になります。 • 表示位置は画面上部と下部がえらべます。(☞17ページ「INFORMATION」の「POSITION」) • 「PEAK HOLD」が「ON」のときは、信号レベルがもっとも大きいときにレベルメーターの最大値を一定時間保持します。	
-LEVEL METER ch	レベルメーターの音声チャンネル表示順序を選択 **LINE**　：画面左に1～6チャンネル、画面右に7～12チャンネルを表示 **DIVIDE**：画面左に奇数チャンネル、画面右に偶数チャンネルを表示	OFF、LINE、DIVIDE
-BAR TYPE	レベルメーターの色を設定 **3COLORS**：レベルに応じて色分け **W.100**　：白色	3COLORS、W.100
-REFERENCE LEVEL	レベルメーターで表示される標準入力レベルを設定	−20dB、−18dB
-OVER LEVEL	レベルメーターの色が「3COLORS」のときに、赤色で表示される入力レベルの下限を設定	−10dB、−8dB、−6dB、−4dB、−2dB
-BAR BRIGHTNESS	レベルメーターの明るさを設定	LOW、HIGH
-PEAK HOLD	レベルメーターのピークホールド機能をオン/オフ	OFF、ON

注1　入力ごとに記憶されます。

SYNC FUNCTION

信号との同期についての設定

項目名	内容	設定値
NO SYNC ACTION	入力信号がないときの動作を設定 P.SAVE ： 省電力モード GRAY B. ： 灰色画面	OFF、P.SAVE、GRAY B.
DELAY TIME	入力信号がなくなってから、「NO SYNC ACTION」で設定した動作に切り換わるまでの時間を設定	30sec.、5min.、15min.
LOW LATENCY	入力された映像が表示されるまでの遅延時間を短くする機能をオン/オフ • 「ON」で映像が不安定なときは、「OFF」にしてください。 • 「ON」に設定していると、正面のボタンやメニューを操作したときや、信号フォーマットが変わったときに、画面がちらつくことがあります。	ON、OFF

• 「NO SYNC ACTION」を「GRAY B.」にすると、画面が灰色になり、バックライトの消費電力が半減します。「P.SAVE」（省電力モード）にすると、バックライトをオフにして、消費電力をさらに抑えます。

■ セットアップメニュー

FUNCTION SETTING

サブメニュー表示、カラーシステム、タリーランプの点灯色、映像のサイズ、ボタンランプの明るさ、PHASE調節の設定

項目名	内容	設定値
sub menu POSI.	サブメニューの表示内容と表示位置を選択 設定値と内容は以下のとおりです。 LOWER1 ： 現在の設定と調節バーを画面下部に表示 UPPER1 ： 現在の設定と調節バーを画面上部に表示 LOWER2 ： 現在の設定だけを画面下部に表示 UPPER2 ： 現在の設定だけを画面上部に表示 • 調節バーが表示されない項目もあります。	LOWER1、UPPER1、LOWER2、UPPER2
COLOR SYSTEM	カラーシステムを設定 ・「AUTO」で映像が安定しない場合は、「NTSC」または「PAL」に設定してください。	AUTO、NTSC、PAL
TALLY SELECT	タリーランプの点灯色を選択	GREEN、RED
DIMMER	ボタンランプの明るさを選択	NORMAL、DARK
COMPONENT PHASE	NTSC信号以外のときにPHASE調節（映像調節ノブまたはセットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」）を無効とする機能（☞10ページ3）	ENABLE、DISABLE

PICTURE SUB ADJ.

映像調節の基準レベル、映像信号入力時のセットアップレベルを設定

項目名	内容	設定値
CONTRAST[注1]	正面のCONTRAST調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
BRIGHT[注1]	正面のBRIGHT調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
CHROMA[注1]	正面のCHROMA調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
PHASE[注1、注2]	正面のPHASE調節ノブで調節するときの基準レベルを調節	−20 ～ +20
NTSC SETUP	NTSC信号入力時のセットアップレベルを設定 00 ： セットアップ0%の信号 7.5 ： セットアップ7.5%の信号	00、7.5
sub menu	サブメニューを使って、「PICTURE SUB ADJ.」の項目を映像を見ながら調節	
reset	「PICTURE SUB ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す。（項目をえらんでリセットすることはできません）	

注1 入力ごとに記憶されます。

注2 「COMPONENT PHASE」を「DISABLE」に設定しているとき、PHASE調節はNTSC信号以外では働きません。

SIZE/POSI. ADJ.

映像のサイズや位置を調節

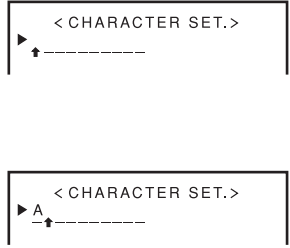
項目名	内容	設定値
H SIZE[注1]	水平方向の映像サイズを調節	設定範囲は信号ごとに異なります。
H POSITION[注1]	水平方向の映像位置を調節	
V SIZE[注1]	垂直方向の映像サイズを調節	
V POSITION[注1]	垂直方向の映像位置を調節	
sub menu	サブメニューを使って、「SIZE/POSI. ADJ.」の各項目を映像を見ながら調節	
reset	「SIZE/POSI. ADJ.」の設定をお買い上げ時の状態に戻す。 （項目をえらんでリセットすることはできません）	

注1　信号フォーマットごとに記憶されます。

WHITE BALANCE SET.

ガンマ補正値、色温度の選択と、R/G/Bのドライブレベル、カットオフ点を調節

項目名	内容	設定値
COLOR TEMP.	色温度を選択	9300K、6500K、USER
R DRIVE G DRIVE B DRIVE[注2]	赤（R）、緑（G）、青（B）のドライブレベルを調節	MIN ～ 000 ～ MAX（256段階）
R CUT OFF G CUT OFF B CUT OFF[注2]	赤（R）、緑（G）、青（B）のカットオフ点を調節	MIN ～ 000 ～ MAX（256段階）
sub menu	サブメニューを使って、「WHITE BALANCE SET.」の各項目を映像を見ながら調節	
reset	「COLOR TEMP.」で選択されている色温度の「R DRIVE」～「B CUT OFF」の各項目の設定をお買い上げ時の状態に戻す。（項目をえらんでリセットすることはできません）	

注2　「COLOR TEMP.」の設定値ごとに記憶されます。

REMOTE SETTING

（☞18～21ページ「外部制御」）

外部制御に関する設定

項目名	内容	設定値
SERIAL TYPE	シリアル方式で外部制御するときの外部制御端子を選択	RS232C、RS485
PARALLEL TYPE	MAKE/TRIGGER端子の制御方式を選択	MAKE、TRIGGER、SET
PIN1 PIN2 PIN3 PIN4 PIN5	MAKE/TRIGGER端子で制御する機能を各ピンに割り当て • 割り当ては上記の「PARALLEL TYPE」で「SET」をえらんで行ないます。	☞19ページ「MAKE/TRIGGER方式で制御可能な機能」の「モニター表示」
PIN6 PIN7 PIN8	「PIN6」～「PIN8」にはあらかじめ機能が割り当てられています。変更することはできません。	☞18ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」

INFORMATION

本機の情報の表示に関する設定

項目名	内容	設定値
POSITION	情報を表示させる位置を設定(☞11ページ「情報表示について」)	UPPER、LOWER
SOURCE ID	「CHARACTER SET.」で登録した映像ソース名の表示/非表示を設定 (☞11ページ「情報表示について」) • 「AUTO」に設定し、タリーランプを点灯させている場合はタリーランプの点灯色と同じ色に変わります。	OFF、ON、AUTO
CHARACTER SET.[注1]	任意の入力映像ソース名(10文字まで)を登録 RS-232C方式でも入力できます。 **「CHARACTER SET.」の設定** **1.** 映像ソース名を登録したい入力に切り換える **2.** 「CHARACTER SET.」を表示させる **3.** △▽ボタンを押して1文字目に入力する文字をえらぶ • △ボタンを押すごとに、文字が次のように切り換わります。▽ボタンでは逆順に切り換わります。 空白(スペース)→ 0〜9 → A〜Z → a〜z → &()＊+,−./:<>_ →(空白に戻る) <CHARACTER SET.> ▶ ---------- **4.** ▷ボタンを押してカーソル(矢印)を次の文字の入力位置に移動させる • カーソル(矢印)を移動させる前に入力した文字は記憶されます。 <CHARACTER SET.> ▶ A ---------- **5.** 手順**3**、**4**をくり返して、最大10文字まで入力する **6.** MENUボタンを押して設定を保存する	
STATUS DISPLAY	現在えらんでいる入力のステータスとMUTING(消音)の設定状態の表示/非表示を設定(☞11ページ「ステータス表示について」)	AUTO、OFF、ON
TIME CODE	タイムコードの表示種類を選択	VITC[注2]、LTC[注2]、D-VITC
CRC ERROR	HD SDI信号入力時のCRCエラーの表示/非表示を設定 (☞11ページ「情報表示について」)	OFF、ON
SUB HOUR METER	使用時間を表示(単位:時間) 使用時間は、リセットして0に戻すことができます。	
MODEL	本機の型名を表示	
VERSION	本機のバージョンを表示	
HOUR METER	合計使用時間を表示(単位:時間) 本機の保守の際に確認します。合計使用時間はリセットできません。	

注1 入力ごとに記憶されます。
注2 アンシラリータイムコード

CONTROL LOCK

設定値: OFF、VOL.LOCK、ALL LOCK

本機の操作ができないように設定

- 「VOL.LOCK」のときは以下の操作は働きません。
  - VOLUME調節ノブ
  - 映像調節ノブ
- 「ALL LOCK」のときは本機の操作ができません。ただし以下の操作は可能です。
  - モニターのオン/オフ(スタンバイ)
  - ▽ボタンを押しながら◁ボタンを押してセットアップメニューを表示し、「CONTROL LOCK」を「OFF」にする
  - 外部制御による本機の操作

  これら以外の操作をすると、画面に「Control lock on!」と表示されます。

DVI INPUT SEL.

設定値: AUTO、COMPO.、RGB、PC

「AUTO」に設定すると、DVI-D(HDCP)端子に入力されている信号形式を自動判別します。(通常は「AUTO」に設定します。)

- 「AUTO」で映像が正しく映らない場合は、「COMPO.」、「RGB」、「PC」のいずれかに設定してください。
- 本機のDVI-D入力はHDCPに対応しています。

all reset

本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻す(リセット)

- 「HOUR METER」と正面の調節ノブによる設定はリセットされません。
- リセットすると、いったんモニターがオフ(スタンバイ)になり、その後自動的にオンになります。

外部制御

■ 外部制御の概要

本機は3種類の信号フォーマット入力·再生できます。

- **MAKE/TRIGGER端子**(RJ-45):以下の2種類の制御方式からえらびます。
  - ① MAKE(メイク接点)方式
    ピンを短絡(GNDとショート)または、開放(端子オープン)することで機能を制御します。
  - ② TRIGGER(トリガー)方式
    ピンに瞬間的にパルス信号を入力することで機能を制御します。
  ☞右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
- **RS-485端子**(RJ-45):RS-485方式で本機を制御します。(☞20ページ「シリアル方式での外部制御」)
- **RS-232C端子**(D-sub 9ピン):RS-232C方式で本機を制御します。(☞20ページ「シリアル方式での外部制御」)

ご使用の外部制御端子と制御方式にあわせて、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」を下の表のように設定してください。
(☞16ページ 「SERIAL TYPE」、「PARALLEL TYPE」)

外部制御端子	外部制御方式		本機の設定	
			「SERIAL TYPE」	「PARALLEL TYPE」
MAKE/TRIGGER端子	MAKE		—	MAKE
	TRIGGER		—	TRIGGER
RS-485端子	シリアル方式	RS-485	RS485注1	—
RS-232C端子		RS-232C	RS232C注1	—

注1 パソコンなどに接続したモニターは、接続した端子に合わせて設定します。2台め以降は「RS485」に設定します。

外部制御中、本機の操作には、次のような優先順位があります。

MAKE方式 ＞ TRIGGER方式 ＝ シリアル方式 ＝ 本機のボタンおよびメニュー

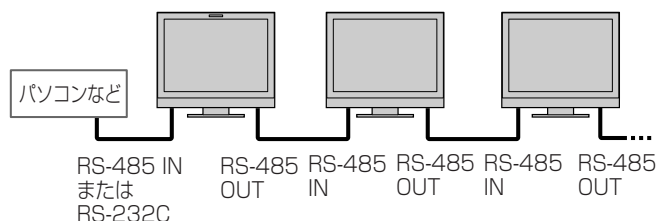
- 「CONTROL LOCK」(☞17ページ)が「VOL.LOCK」または「ALL LOCK」のときも、外部制御できます。
- モニターがオフ(スタンバイ)のときは、外部制御できません。ただし、シリアル方式の一部の外部制御(通信開始／終了、モニターオン)は可能です。(☞21ページ)

<MAKE、TRIGGER方式>

パソコンまたはコントローラー注2で本機を制御します。

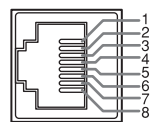
- 詳しくは右記「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」をご覧ください。

注2 別途制作の必要があります。

<シリアル方式>

- 詳しくは20ページをご覧ください。

■ MAKE/TRIGGER方式での外部制御

MAKE/TRIGGER端子のピン配列と、各ピンの名前は以下のとおりです。
1番ピンから5番ピンの機能は、セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で割り当てることができます。
(☞16ページ「PARALLEL TYPE」、「PIN1、PIN2、PIN3、PIN4、PIN5」)

- 6番ピンから8番ピンの機能は変更できません。

端子はメスです。

ピン番号	名前
1	PIN1
2	PIN2
3	PIN3
4	PIN4
5	PIN5
6	TALLY注1
7	ENABLE注2
8	GND

注1 6番ピンはタリーランプの点灯/消灯を制御します。(7番ピンが無効のときも単独制御できます)
注2 7番ピンは外部制御の有効/無効を制御します。必ずMAKE方式で制御してください。

端子の機能を割り当てるには

メニューの操作方法は、12ページをご覧ください。

1. セットアップメニューを表示して、「REMOTE SETTING」をえらぶ
2. 「PARALLEL TYPE」を「SET」に設定する
3. 割り当てたい端子(「PIN1」〜「PIN5」)をえらび、機能を割り当てる
   割り当てられる機能については、19ページの一覧表をご覧ください。

外部制御の操作

1. セットアップメニューの「REMOTE SETTING」で「PARALLEL TYPE」を「MAKE」または「TRIGGER」に設定する
2. 7番ピンを8番ピンに短絡して外部制御を有効にする
3. MAKE方式の場合　：各機能のピンを8番ピンに短絡または開放して制御する
   TRIGGER方式の場合：各機能のピンを約1秒間8番ピンに短絡して開放する操作(パルス制御)で制御する

- MAKE方式での制御中に入力を切り換えるときは、現在有効になっているピンを無効にしてから、切り換えたい入力のピンを有効にしてください。
- TRIGGER方式では、複数のピンを一度に操作しても動作しません。必ず一つずつ順番に操作してください。

<MAKE／TRIGGER方式で制御可能な機能>

モニター表示	制御する機能	開放	短絡
TALLY SEL	タリーランプ色選択	緑	赤
SDI 1	入力を「SDI 1」に切換	無効	有効
SDI 2	入力を「SDI 2」に切換	無効	有効
DVI	入力を「DVI」に切換	無効	有効
VIDEO	入力を「VIDEO」に切換	無効	有効
A.MARKER	エリアマーカー表示	オフ	オン
S.MARKER	セーフティマーカー表示	オフ	オン
FRAME	映像範囲表示	オフ	オン
C.MARKER	センターマーカー表示	オフ	オン
MARK.SEL	「MARKER」で設定した機能の選択注3	「R-」のない機能の設定	「R-」付きの機能の設定
ASPECT	アスペクト切換	4:3	16:9
1:1	1:1表示	オフ	オン
STATUS	ステータス表示注4	☞11ページ「ステータス表示について」	
L.METER	オーディオレベルメーター表示	注5	
TIME CODE	タイムコード表示	オフ	オン
SOURCE ID	☞17ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」	注6	
COLOR OFF	カラーオフ	カラー	モノクロ
SCR CHECK	スクリーンチェック	注7	
I/P MODE	入力映像に応じてモードを切換	注8	
MUTING	消音	オフ	オン
DIMMER	ボタンランプの明るさを切換	NORMAL	DARK
ーーー	機能なし	—	—

注3 「R-」のない機能と「R-」付きの機能の設定のどちらを使うかを選択します。（☞13〜14ページ「MARKER」）

注4 現在えらんでいる入力のINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報が表示されます。（☞11ページ「ステータス表示について」）MAKE方式で制御しているときは、短絡した瞬間のみ表示されます。

注5 MAKE方式では、表示（短絡）/非表示（開放）を切り換えます。「LEVEL METER ch」が「OFF」のときは、短絡しても表示されません（「NO EFFECT」と表示されます）。TRIGGER方式では、オーディオレベルメーターの音声チャンネルの表示順序を切り換えます。

注6 MAKE方式では、「SOURCE ID」の設定値（「ON」または「AUTO」は短絡）と「OFF」（開放）を切り換えます。TRIGGER方式ではメニューの設定と同じように切り換わります。（☞17ページ「INFORMATION」の「SOURCE ID」）

注7 MAKE方式では、通常の映像（開放）とB信号成分のみの映像（短絡）が切り換わります。TRIGGER方式では、SCREENS CHECKボタンを押したときと同じように切り換わります（☞10ページ⑪）。

注8 TRIGGER方式で制御してください。「NORMAL」→「CINEMA」→「FIELD」の順番でモードが切り換わります。（MAKE方式では、制御できません）

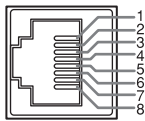
- 2つのピンに、同じ機能を割り当てることはできません。
- TRIGGER方式の場合、約1秒間短絡して解放する操作により、設定が交互に切り換わります。

■ シリアル方式での外部制御

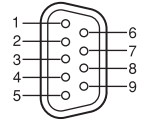
RS-485端子またはRS-232C端子を使って、本機をパソコンなどから制御します。
※制御仕様の詳細は、サービス窓口にお問い合わせください。

＜通信仕様＞

使用する端子	ケーブル	端子の仕様	通信仕様
RS-485端子	ストレートLANケーブル	☞下記	ボーレート：4800 bps データ長：8ビット パリティ：なし ストップビット：1ビット フロー制御：なし 通信コード：ASCIIコード
RS-232C端子	D-sub9ピン型コネクターのストレートケーブル （モニター側：オス、パソコン側：メス）		

＜RS-485端子の仕様＞

端子はメスです。

ピン番号	IN端子信号	OUT端子信号
1	TXD+	TXD+
2	TXD−	TXD−
3	RXD+	RXD+
4	NC	NC
5	NC	NC
6	RXD−	RXD−
7	NC	NC
8	GND	GND

＜RS-232C端子の仕様＞

端子はメスです。

ピン番号	信号
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	RTS
8	CTS
9	NC

• 7番ピンと8番ピンは接続されています。

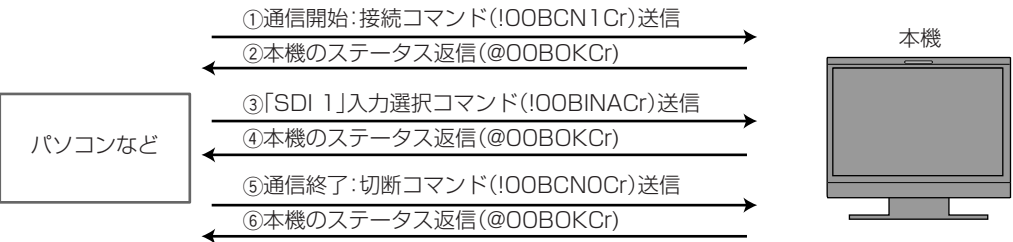
＜コマンド概要＞
すべてのコマンドは、以下のフォーマットで形成されています。

ヘッダー	本機のID	コマンドID	コマンド内容	データ内容	Cr(0Dh)

ヘッダーについて

「!」 ：パソコンから本機への制御。詳しくは、＜基本コマンド一覧＞(☞21ページ)をご覧ください。
「?」 ：パソコンから本機への問い合わせ
「@」：本機からパソコンへの返信

通信開始時には接続コマンド、通信終了時には切断コマンドが必要です。

通信例

<基本コマンド一覧>

No.	コマンド	機能	データ内容
1	! ＊ ＊[注1] B C N 1 Cr	通信開始(接続)	なし
2	! ＊ ＊[注1] B C N 0 Cr	通信終了(切断)	なし
3	! ＊ ＊[注1] B I D S E T x x[注2] Cr	個別制御IDの割付	01～99
4	! ＊ ＊[注1] B I D R E T Cr	個別制御IDの初期化	なし
5	! ＊ ＊[注1] B I D D S P x x[注2] Cr	IDの表示/非表示	00:非表示、01:表示
6	! ＊ ＊[注1] B I D C H K x x[注2] Cr	指定したIDのモニターのID No.を点滅表示/非表示	00:非表示、01:表示
7	! ＊ ＊[注1] B M E N U Cr	メインメニューの表示/メニュー操作の終了	なし
8	! ＊ ＊[注1] B U P Cr	項目選択(△)	なし
9	! ＊ ＊[注1] B D O W N Cr	項目選択(▽)	なし
10	! ＊ ＊[注1] B A D J R Cr	設定･調整(▷)	なし
11	! ＊ ＊[注1] B A D J L Cr	設定･調整(◁)	なし
12	! ＊ ＊[注1] B S E T U P Cr	セットアップメニューの表示	なし
13	! ＊ ＊[注1] B P W 1 Cr	モニターをオン	なし
14	! ＊ ＊[注1] B P W 0 Cr	モニターをオフ(スタンバイ)	なし
15	! ＊ ＊[注1] B I N A Cr	「SDI 1」入力選択	なし
16	! ＊ ＊[注1] B I N B Cr	「SDI 2」入力選択	なし
17	! ＊ ＊[注1] B I N C Cr	「DVI」入力選択	なし
18	! ＊ ＊[注1] B I N E Cr	「VIDEO」入力選択	なし
19	! ＊ ＊[注1] B D I S P Cr	ステータス表示[注3]	なし
20	! ＊ ＊[注1] B A M U T E x x[注2] Cr	消音	00:オフ、01:オン
21	! ＊ ＊[注1] B A S P x x[注2] Cr	アスペクト切換	00:4:3、01:16:9

- 「Cr」は0Dhです。
- 通信開始(接続)コマンド(No.1)、通信終了(切断)コマンド(No.2)、モニターをオンにするコマンド(No.13)は、モニターがオフ(スタンバイ)のときも通信できます。

[注1] 「＊＊」には、本機のIDを入力します。本機のIDの初期設定は「00」です。モニターを複数台接続している場合、「00」は一括制御コマンドになります。

[注2] 「xx」にはデータ内容を入力します。

[注3] 現在点灯しているINPUT SELECTボタンを押した場合と同じ情報を表示します。(☞11ページ「ステータス表示について」)

困ったときは

修理をご依頼の前に、もう一度次の点を確認してください。それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	こうしてください	ページ
電源が入らない	• ⏻ / I ボタンをオンにしてください。 • 電源プラグを確実に差し込んでください。 • 背面の電源スイッチをオンにしてください。	10 8 8
映像が映らない	• INPUT SELECTボタンで正しい入力をえらんでください。 • 信号ケーブルを確実に接続してください。 • 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。 • 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	10 8 — 26、27
音が出ない	• 音量を調節してください。 • 消音を解除してください。 • 信号ケーブルを確実に接続してください。 • 接続機器の電源を入れ、正しく設定してください。	10 10 8 —
「OTHERS」または 「Out of range」と表示される	• 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。	11、26、27
「NO SYNC」と表示される	• INPUT SELECTボタンで正しい入力をえらんでください。 • 信号ケーブルを確実に接続してください。 • 接続機器の電源を入れ、映像信号を出力してください。または、接続機器の映像出力環境(ビデオデッキの映像出力設定やパソコンのグラフィックボードなど)を確認してください。	10 8 —
色がおかしい/色がつかない	• 各映像調節ノブまたはセットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の各項目を調節してください。または設定を初期化してください。 • COLOR OFFボタン、SCREENS CHECKボタンの設定を確認してください。 • セットアップメニューの「FUNCTION SETTING」で「COLOR SYSTEM」を正しく設定してください。 • セットアップメニューの「WHITE BALANCE SET.」の各項目を調節してください。もしくは設定を初期化してください。	10、15 10 15 16
映像がぼやける	• 映像調節ノブで「CONTRAST」や「BRIGHT」を調節してください。 または、セットアップメニューの「PICTURE SUB ADJ.」の項目で「CONTRAST」や「BRIGHT」を調節してください。	10、15
映像の位置がずれている、 映像のサイズが合っていない 信号によっては、映像を画面いっぱいに広げることができない場合があります。この場合は確実な対応のしかたがありません。あらかじめご了承ください。	• 1:1ボタンの設定を確認してください。 • メインメニューの「ASPECT」「SD4:3 SIZE」の設定を確認してください。 • 本機で対応しているフォーマットの信号を入力してください。 • セットアップメニューの「SIZE/POSI. ADJ.」で映像のサイズ(H SIZE、V SIZE)・位置(H POSITION、V POSITION)を調節してください。	10 13 26、27 16
メニューに表示されない項目がある	• 選択している入力や信号フォーマットで使用できない項目は、メニューに表示されません。入力や信号フォーマットを切り換えてください。 • MAKE方式で外部制御している機能の項目は、メニューに表示されません。	— 18
本機で操作できない	• セットアップメニューの「CONTROL LOCK」を「OFF」に設定してください。 • MAKE方式で外部制御している機能は、本機からは操作出来ません。外部制御を無効にしてください。	17 18、19

こんなときは故障ではありません

■ 静止画を長時間表示していると、映像を切り換えても前の映像がぼんやりと映っていること(残像)がありますが、しばらくすると消えます。また、表示する時間によっては、残像が長期にわたる場合があります。これは、LCD(液晶ディスプレイ)の特性で、故障ではありません。

■ 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(黒点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

■ 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ故障ではありません。
- ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる。
- 本機の天面や背面の一部が熱くなっている。
- 本機から「ミシッ」という音がする。
- 本機の内部から動作音が聞こえる。

■ 自己診断表示について

本機には自己診断機能がついています。本機に異常が起きたときに、INPUT SELECTランプで本機の状態をお知らせし、より迅速にサービス対応させていただくための機能です。
INPUT SELECTランプが点滅したら、次の手順でお買い上げ販売店にご相談ください。

画面が消え、正面のINPUT SELECTランプ(SDI 2、DVI、VIDEO)が点滅したら...

1. どのランプが点滅しているかを確認する
2. ⏻/I ボタンを押してモニターをオフ(スタンバイ)にする
3. 背面の電源スイッチをオフにする
4. 電源コードを抜く
5. お買い上げ販売店に点滅しているランプを知らせる

- 電源を切った後、すぐに電源を入れると、INPUT SELECTボタンが点滅し、映像が映らないことがあります(瞬間的な停電も含みます)。
  このような場合は、一度電源を切り、10秒以上待ってから再び電源を入れてください。
  INPUT SELECTランプが点滅しなければ、そのままご使用ください。

仕様

■ 一般

型名	DT-R17L4D
種類	液晶マルチフォーマットモニター
画面サイズ	17V型ワイド
アスペクト比	16:9
水平/垂直周波数(パソコン信号)	水平: 31.469 kHz~75.000 kHz 垂直: 48 Hz~65 Hz ＊この周波数の範囲内でも信号によっては映らない場合があり、「Out of range」と表示されます。
対応映像信号フォーマット	☞26ページ「対応信号フォーマット」
適用規格	HD SDI: BTA S-004C、SMPTE292M SD SDI: ITU-R BT.656:525/625 SMPTE259M:525 EMBEDDED AUDIO: SMPTE299M、SMPTE272M
音声出力	内部スピーカー:1.0 W + 1.0 W
動作使用条件	温度 5℃～35℃　湿度 20%～80%(非結露) (動作使用条件は設置環境により多少異なります。)
使用電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz共用
定格電流	1.3 A
外形寸法(突起部除く)	横幅: 43.0 cm　43.0 cm 高さ: 31.41 cm　30.9 cm 奥行: 18.1 cm　10.2 cm (スタンドを含む) (本体のみ)
質量	8.0 kg(スタンドを含む) 6.5 kg(本体のみ)
付属品	電源コード(3極)×1、電源コード(アース線付き2極)×1、 電源コードホルダー×1、ネジ×2(電源コードホルダー用)

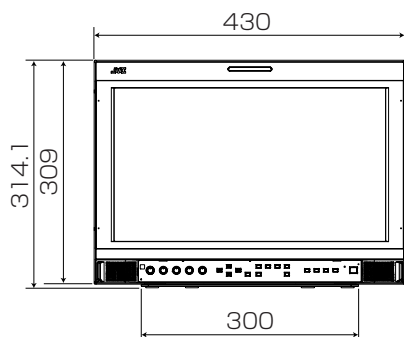
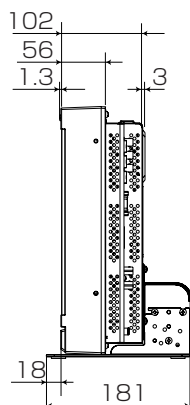
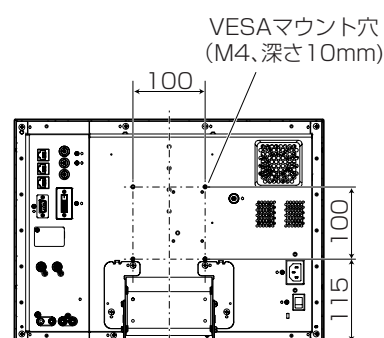
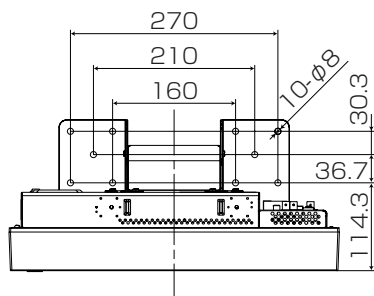
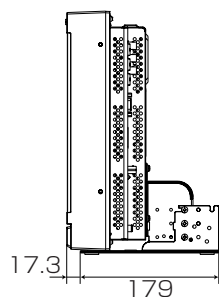
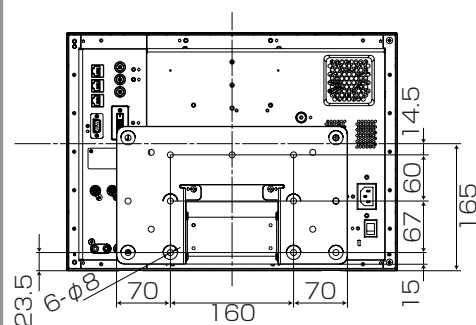
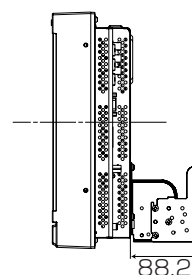
■ 液晶パネル

種類	17型ワイド、アクティブマトリックス TFT
有効画面寸法	横幅: 37.29 cm 高さ: 20.97 cm
表示画素数(解像度)	1366×768ピクセル
表示色数	約1677万色
視野角(標準値)	左右:178°　上下:178°
輝度(標準値)	350 cd/㎡
コントラスト比(標準値)	900:1

■ 入出力端子

映像	VIDEO	コンポジット信号入出力: 1系統、BNCコネクター×2、 1 V(p-p)、75 Ω ※INとOUTはブリッジ接続(自動終端)
	DVI-D (HDCP)	DVI-D信号入力(HDCP対応): DVI-Dコネクター×1(DDC2B対応)
	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1)	デジタル信号入力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 自動検知、2系統、BNCコネクター×2
	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 2)	
	E. AUDIO HD/SD SDI (SWITCHED OUT)	デジタル信号出力(EMBEDDED AUDIO信号対応): 1系統スイッチドアウト、BNCコネクター×1
音声	AUDIO (IN)	アナログ音声信号入力: 1系統、RCAコネクター×2、 500 mV(rms)、ハイインピーダンス
	AUDIO (MONITOR OUT)	アナログ音声信号出力: 1系統、RCAコネクター×2、 500 mV(rms)
外部制御	REMOTE (MAKE/TRIGGER)	☞18ページ「MAKE/TRIGGER方式での外部制御」
	REMOTE (RS-485)	☞20ページ「シリアル方式での外部制御」
	REMOTE (RS-232C)	

■ 外形寸法図（単位：mm）

DT-R17L4D

■ 対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマット入力･再生できます。

ビデオ信号

No.	名称	ステータス表示の信号フォーマット (☞11ページ)	入力端子		
			VIDEO	E. AUDIO HD/SD SDI (IN 1、IN 2)注1	DVI-D(HDCP) (デジタルコンポーネント/デジタルRGB)
1	NTSC	NTSC	○	—	—
2	PAL	PAL	○	—	—
3	B/W50	B/W50	○	—	—
4	B/W60	B/W60	○	—	—
5	480/60i	480/60i	—	○	○
6	480/59.94i	480/59.94i	—	○	○
7	576/50i	576/50i	—	○	○
8	480/60p	480/60p	—	—	○
9	480/59.94p	480/59.94p	—	—	○
10	576/50p	576/50p	—	—	○
11	640*480/60p	640*480/60p	—	—	○
12	640*480/59.94p	640*480/59.94p	—	—	○
13	720/60p	720/60p	—	○	○
14	720/59.94p	720/59.94p	—	○	○
15	720/50p	720/50p	—	○	○
16	720/30p	720/30p	—	○	—
17	720/29.97p	720/29.97p	—	○	—
18	720/25p	720/25p	—	○	—
19	720/24p	720/24p	—	○	—
20	720/23.98p	720/23.98p	—	○	—
21	1080/60i	1080/60i	—	○	○
22	1080/59.94i	1080/59.94i	—	○	○
23	1035/60i	1035/60i	—	○	○注2
24	1035/59.94i	1035/59.94i	—	○	○注3
25	1080/50i	1080/50i	—	○	○
26	1080/60p	1080/60p	—	—	○
27	1080/59.94p	1080/59.94p	—	—	○
28	1080/50p	1080/50p	—	—	○
29	1080/30p	1080/30p	—	○	○
30	1080/29.97p	1080/29.97p	—	○	○
31	1080/25p	1080/25p	—	○	○
32	1080/24p	1080/24p	—	○	○
33	1080/23.98p	1080/23.98p	—	○	○
34	1080/30psF	1080/30psf	—	○注2	—
35	1080/29.97psF	1080/29.97psf	—	○注3	—
36	1080/24psF	1080/24psf	—	○	—
37	1080/23.98psF	1080/23.98psf	—	○	—

○:入力可
—:入力不可
注1　EMBEDDED AUDIO信号対応。
注2　1080/60iとみなされ、「1080/60i」とステータスが表示されます。
注3　1080/59.94iとみなされ、「1080/59.94i」とステータスが表示されます。

パソコン信号(プリセット)

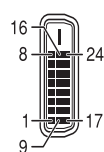
DVI-D(HDCP)端子:

No.	名称	解像度		周波数		走査方式
		水平	垂直	水平(kHz)	垂直(Hz)	
1	VGA60	640	480	31.5	59.9	ノンインターレース
2	WVGA60	852	480	31.5	59.9	ノンインターレース
3	SVGA60	800	600	37.9	60.3	ノンインターレース
4	XGA60	1024	768	48.4	60.0	ノンインターレース
5	WXGA(1280)	1280	768	47.8	60.0	ノンインターレース
6	WXGA+60[注4]	1440	900	55.9	60.0	ノンインターレース
7	SXGA60[注4]	1280	1024	64.0	60.0	ノンインターレース
8	WSXGA+60[注4]	1680	1050	65.2	60.0	ノンインターレース
9	UXGA60[注4]	1600	1200	75.0	60.0	ノンインターレース
10	WUXGA60[注4]	1920	1200	74.0	60.0	ノンインターレース
11	720/60p	1280	720	45.0	60.0	ノンインターレース
12	1080/60p[注4]	1920	1080	67.5	60.0	ノンインターレース
13	720/50p	1280	720	37.5	50.0	ノンインターレース
14	1080/50p[注4]	1920	1080	56.25	50.0	ノンインターレース

[注4] No.6～10、12、14の信号は、解像度が本機のパネルの解像度より高いため、細かい線が見えにくくなります。

- 入力可能な周波数範囲内(☞24ページ「水平/垂直周波数(パソコン信号)」)であっても、プリセットされていない信号は正常に映らないことがあります。
- プリセットされている信号を入力したときは、ステータス表示で信号フォーマットが表示されます。プリセットされていない信号を入力したときは、解像度が表示されます。

DVI-D(HDCP)端子の仕様

パソコンのモニター(DVI-D)出力端子と接続します。

ピン番号	入力信号
1	T.M.D.S Data 2–
2	T.M.D.S Data 2+
3	T.M.D.S Data 2 shield
4	NC
5	NC
6	DDC Clock
7	DDC Data
8	NC

ピン番号	入力信号
9	T.M.D.S Data 1–
10	T.M.D.S Data 1+
11	T.M.D.S Data 1 shield
12	NC
13	NC
14	+5 V Power
15	GND
16	Hot Plug Detect

ピン番号	入力信号
17	T.M.D.S Data 0–
18	T.M.D.S Data 0+
19	T.M.D.S Data 0 shield
20	NC
21	NC
22	T.M.D.S Clock shield
23	T.M.D.S Clock+
24	T.M.D.S Clock–

輸送上のお願い

本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国ではカラー方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  This monitor set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 画面サイズのV型(17V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機は「JIS C 61000-3-2適合品」です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

修理を依頼されるときは

修理をご依頼になる前に、「困ったときは」(☞22ページ)に従って確認をしてください。それでも不具合や異常があるときは、本機の電源を切り、電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口案内にご連絡ください。

■ 保証期間中は
修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡していただきたい内容

品　名	表紙参照
型　名	表紙参照
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせて
お　名　前	
電話番号	（　　）　　－
訪問後希望日	

■ 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げの販売店　　　　（　　）　　－

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙の「業務機器相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

全般的なご相談

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は
電話　(045) 450−8950
FAX　(045) 450−2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0610SKH-CR-MT